

松山 智一

1976年 岐阜県高山市に生まれる。現在はニューヨーク、ブルックリンを拠点に活動。

2000年 上智大学経済学部卒業

2002年 渡米

2004年 Pratt Institute (ニューヨーク) コミュニケーション・デザイン専攻 卒業

主な個展

- 2025年 *Liberation Back Home* (SCAD ミュージアム・オブ・アート/サバンナ、ジョージア州、米国)
Tomokazu Matsuyama: Morning Sun (エドワード・ホッパー・ハウス美術館/ニューヨーク、米国)
松山智一展 *FIRST LAST* (麻布台ヒルズ ギャラリー/東京、日本)
Almine Rech 個展 (Frieze Los Angeles/ロサンゼルス、米国)
- 2024年 *Mythologiques, 第60回ベニス・ビエンナーレ, Hosted by the Contemporary Istanbul Foundation* (Arsenale、ベニス、イタリア)
- 2023年 *MATSUYAMA Tomokazu: Fictional Landscape* (上海宝龍美術館、上海、中国)
松山智一展：雪月花のとき (弘前れんが倉庫美術館/弘前、日本)
Episodes Far From Home (Almine Rech Gallery/ロンドン、英国)
- 2022年 *Harmless Charm* (Sotheby's/香港)
The Best Part About Us (Kavi Gupta Gallery/シカゴ、米国)
- 2021年 *Boom Bye Bye Pain* (KOTARO NUKAGA/東京、日本)
Accountable Nature (龍美術館/重慶、中国)
- 2020年 *Accountable Nature* (龍美術館/上海、中国)
- 2018年 *No Place Like Home* (Zidoun-Bossuyt Gallery/ルクセンブルク、ルクセンブルク)
Same Same, Different (LUMINE 0/東京、日本)
- 2017年 *Baby It's Cold Outside* (Lesley Kehoe Galleries/メルボルン、オーストラリア)
Oh Magic Night (香港コンテポラリーアート財団、HOCA/香港)
- 2015年 *Somewhere Here* (Zidoun-Bossuyt Gallery/ルクセンブルク、ルクセンブルク)
Made In 17 Hours (オーストラリア現代美術館/シドニー、オーストラリア)
Come with Me (Gallery Wendi Norris/サンフランシスコ、米国)
- 2014年 *Sky Is The Limit* (ハーバーシティー/香港)
Outside Looking In (Lesley Kehoe Gallery/メルボルン、オーストラリア)
- 2013年 *The Standard Rendez-vous* (Zidoun Bossuyt Gallery/ルクセンブルク、ルクセンブルク)
Palimpsest (ハーバード大学、ライシャワー研究所/ケンブリッジ、米国)
- 2012年 *New Works by Tomokazu Matsuyama* (Mark Moore Gallery/ロサンゼルス、米国)
The Future Is Always Bright (Gallery Wendi Norris/サンフランシスコ、米国)

- 2011 年 *Thousand Regards* (アメリカン大学美術館カッツェン・アートセンター/ワシントン DC、米国)
East Weets Mest (Joshua Liner Gallery/ニューヨーク、米国)
- 2010 年 *In Case You're Lost* (Frey Norris Gallery/サンフランシスコ、米国)
2009 年 *Glancing at the Twin Peak* (Joshua Liner Gallery/ニューヨーク、米国)
- 2007 年 *Between the Polar* (Takuro Someya Contemporary Art/千葉、日本)

主なグループ展

- 2024 年 *Pop Forever, Tom Wesselmann & …* (フォンダシオン・ルイ・ヴィトン、フランス)
Blossom: The Tenth Anniversary of the Long Museum (龍美術館/上海、中国)
クロスアート 4 ビロンギングー新しい居場所と手にしたものー (岐阜県美術館/岐阜、日本)
Go For Kogei! (富山市岩瀬エリア/富山、日本)
- 2023 年 ニューホライズン 歴史から未来へ (アーツ前橋/前橋、日本)
Permanent Collection Exhibition (マイアミ・ペレス美術館/マイアミ、米国)
A Leisurely Stroll - The Tenth Anniversary of The Long Museum (龍美術館/上海、中国)
Sugoi! 200 Years of Japanese Art (カラマズー美術館/ミシガン、米国)
ながくとも四十に足らぬほどにて死なんこそめやすかるべけれ (*Die Young, Stay Pretty*) ,
Curated by Tomokazu Matsuyama + Carlos Rolon (KOTARO NUKAGA/東京、日本)
- 2022 年 オフィシャルコラテラルプロジェクト (第 17 回イスタンブール・ビエンナーレ/イスタンブール、トルコ)
- 2021 年 *Realms of Refuge* (Kavi Gupta Gallery/シカゴ、米国)
Home & Away: Selections From Common Practice (Miles McEnery Gallery/ニューヨーク、米国)
Nature Morte (The Hole) (The Hole/ニューヨーク、米国)
- 2020 年 *We Used To Gather* (Library Street Collective/デトロイト、米国)
- 2019 年 *FIXED CONTAINED, Curated by Tomokazu Matsuyama* (KOTARO NUKAGA/東京、日本)
- 2018 年 *Pardon My Language, Curated by Tomokazu Matsuyama*
(Zidoun-Bossuyt Gallery/ルクセンブルク、ルクセンブルク)
- 2017 年 *Re:define* (ダラス・コンテポラリー/テキサス、米国)
Forms and Effects: Ukiyo-e to Anime (Ramapo College of New Jersey/ニュージャージー、米国)
- 2013 年 *Mess in' With The Masters* (メサコンテンポラリー・アートセンター/アリゾナ、米国)
Edo Pop: The Graphic Impact of Japanese Prints (ジャパン・ソサエティー/ニューヨーク、米国)
Changing World Through Art (Marianne Boesky Gallery/ニューヨーク、米国)
- 2012 年 *Re:Define* (ゴス・マイケル財団/テキサス、米国)
- 2011 年 *untitled* (チベットハウス美術館/ニューヨーク、米国)
Joy Ride (Spencer Brownstone Gallery/ニューヨーク、米国)
We Are All One (ニューヨーク工科大学/ニューヨーク、米国)
Changing World Through Art (Haunch of Venison Gallery/ニューヨーク、米国)
The Open Day Book Exhibition (Los Angeles Contemporary Exhibition/ロサンゼルス、米国)

- 2010年 *Sugoi-POP! The Influence of Anime and Manga on Contemporary Art*
(ポーツマス美術館/ポーツマス、米国)
Summer Group Exhibition (Frey Norris Gallery/サンフランシスコ、米国)
Draw (メキシコ市博物館/メキシコシティ、メキシコ)
Changing the World Through Art (Haunch of Venison Gallery/ニューヨーク、米国)
- 2009年 *Lost in Mutation: The Surreal in Contemporary Japanese Art*
(タフツ大学アイデックマン・アートセンター/マサチューセッツ、米国)
Sacred Monsters (タフツ大学アイデックマン・アートセンター/マサチューセッツ、米国)
UNFRAMED 2009 (15 Union Square/ニューヨーク、米国)
- 2008年 *Winter Group Show* (Frey Norris Gallery/サンフランシスコ、米国)
眼差しと好奇心 (ミヅマアートギャラリー/東京、日本)
Night Watch (Takuro Someya Contemporary Art/千葉、日本)
Piece of Peace (パルコ・ギャラリー/東京、日本)
- 2007年 *U Can't Touch This: The New Asian Art, Zone* (チャルシーアートセンター/ニューヨーク、米国)
Bunkamura アートショウ/BAS2007 (Bunkamura ギャラリー/東京、日本)
Project To Surface (M127/ニューヨーク、米国)
Natural Drift (タクロウソメヤ・コンテンポラリー/千葉、日本)

コレクション

アルベルティーナ美術館 (オーストリア)
ロサンゼルス・カウンティ美術館 (LACMA) (米国)
サンフランシスコ・アジア美術館 (米国)
クリスタル・ブリッジーズ・アメリカン・アート美術館 (米国)
マイアミ現代美術館 (米国)
デ・ヤング美術館 (米国)
サンノゼ美術館 (米国)
マイアミ・ペレズ美術館 (米国)
ピーボディ・エセックス博物館 (米国)
カラマズー美術館 (米国)
ブルース・ミュージアム (米国)
AMMA 財団/美術館 (メキシコ)
弘前れんが倉庫美術館 (日本)
アーツ前橋 (日本)
横浜美術館 (日本)
岐阜県美術館 (日本)
滋賀県立美術館 (日本)
霧島アートの森美術館 (日本)
龍美術館 (中国)
宝龍美術館 (中国)
徳基芸術館 (DEJI ART MUSEUM) (中国)
K11 アート財団 (香港)
スペース K ソウル美術館 (韓国)
The Fisher コレクション (米国)
The Dean コレクション (米国)
ラ・ネーブ財団サリナス (スペイン)

マイクロソフト・コレクション（米国）
トヨタ自動車（米国）
Bank of Sharjah コレクション（アラブ首長国連邦）
ドバイ首長国王室コレクション（アラブ首長国連邦）
ポイント・レオ・エステート（オーストラリア）
ナイキ・ジャパン（日本）
リーバイ・ストラウスジャパン（日本）
JR 東日本/LUMINE（日本）
中日ビルディング（日本）

パブリック・アート・プロジェクト

2025 TCL チャイニーズシアター（ロサンゼルス、米国）
LED ビルボードインスタレーション

2024 シカゴ公共図書館（シカゴ、米国）
ミューラルインスタレーション
US OPEN テニス アーモリー・オフサイト（ニューヨーク、米国）
屋外彫刻インスタレーション

2023 バワリー・ミューラル（ニューヨーク、米国）
ミューラルインスタレーション
中日ビルディング（名古屋、日本）
屋内彫刻インスタレーション
SUNY Upstate Medical Institute（ニューヨーク、米国）
ミューラルインスタレーション / RxArt

2022 フラットアイアン・パブリック・プラザ（ニューヨーク、米国）
屋外彫刻インスタレーション
Galataport, Istanbul Biennial Istanbul（イスタンブール、トルコ）
オフィシャルコラテラルプロジェクト / 第17回イスタンブール・ビエンナーレ
屋外彫刻インスタレーション

Yanköse, Istanbul Biennial Istanbul（イスタンブール、トルコ）
オフィシャルコラテラルプロジェクト / 第17回イスタンブール・ビエンナーレ
屋外彫刻インスタレーション

K11 Foundation, K11 MUSEA Hong Kong（香港）
LED ビルボードインスタレーション
jing vision（東京、日本）
LED ビルボードインスタレーション / jing、原宿駅前

2021 TIPSTAR DOME CHIBA (千葉、日本)

彫刻とミューラルインスタレーション

Ivy ステーション (ロサンゼルス、米国)

屋外彫刻とミューラルインスタレーション/カルバー・シティ, ロサンゼルス

Guo Hua Financial Center (重慶、中国)

LED ビルボードインスタレーション / 龍美術館

2020 JR 新宿東口駅前広場 (東京、日本)

駅前広場監修、彫刻作品恒久設置/ JR 東日本、LUMINE

明治神宮 (東京、日本)

野外彫刻インスタレーション/一般社団法人アートパワーズジャパン

2019 North Canon Drive (ビバリーヒルズ、米国)

ミューラルインスタレーション / ビバリーヒルズ市

バワリーミューラル (ニューヨーク、米国)

ミューラルインスタレーション / Goldman Global Arts

2018 渋谷スクランブルスクエア (東京、日本)

LED ビルボードインスタレーション/ Peanuts Global Arts、ソニー、Culture Corps

2014 ハーバーシティ (香港)

屋外彫刻インスタレーション / ハーバーシティ

レクチャー

2023 “カルチュアルアントレプレナーシップの時代” (京都大学/京都、日本)

2013 “アーティスト・プレゼンテーション” (ハーバード大学/ケンブリッジ、米国)

2012 “アーティスト・プレゼンテーション” (Katzen Arts Center, Museum for America University/ワシントン DC)

2011 “アーティスト・プレゼンテーション” (Artist Presentation, アジア・ソサエティミュージアム/ニューヨーク)

2007 “APMT” (BankART/ 横浜、日本)

2003 “アーティスト・プレゼンテーション” (Asian America Arts Centre/ニューヨーク)

作品集、展覧会図録

『MATSUYAMA TOMOKAZU FIRST LAST 松山智一作品集』 KOTARO NUKAGA (東京) ,2025

『Tomokazu Matsuyama Mythologiques』 VFMK (オーストリア) , 2024

『松山智一展 雪月花のとき/MATSUYAMA Tomokazu: Fictional Landscape』 弘前れんが倉庫美術館 (弘前) , 2024

『Boom Bye Bye Pain』 KOTARO NUKAGA (東京) , 2023

『Die Young, Stay Pretty』 KOTARO NUKAGA (東京) , 2023

『Tomokazu Matsuyama IN AND OUT』
カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社
美術出版社書籍編集部(東京), 2021

『Fixed Contained』 KOTARO NUKAGA (東京), 2019
テキスト: 秋元雄史

『No Place Like Home』
Zidoun-Bossuyt Gallery (ルクセンブルク), 2018
テキスト Hollis Goodall

『Pardon My Language』
Zidoun-Bossuyt Gallery (ルクセンブルク), 2018
テキスト: Peter Doroshenko

『Tomokazu Matsuyama』
HOCA Foundation (香港), 2017
テキスト: Rory Padeken and Lauren Every-Wortman

『Tomokazu Matsuyama: A Floating World Redux』
Zidoun-Bossuyt Gallery (ルクセンブルク), 2016
テキスト: Eric Shiner.

『Palimpsest』
Reischauer Institute of Japanese Studies, Harvard University (ケンブリッジ), 2013
テキスト: David L. Howell.

『Thousand Regards』 Panorama Publishing (東京), 2013
テキスト: Yayoi Shionoiri

『Edo Pop: The Graphic Impact of Japanese Prints』
Japan Society (ニューヨーク), 2013

『Further』 Gingko Press (バークレー), 2010, pp.156-203

『In Case You're Lost』 Frey Norris Gallery (サンフランシスコ), 2010
テキスト: Eric Shiner

『Tomokazu Matsuyama』 Panorama Publishing (東京), 2010
テキスト: Eric Shiner, Alexandra Chang, 窪田研二

『Found Modern Library』 Gingko Press (バークレー), 2007
テキスト: Alexandra Chang